

室蘭工業大学-学報

NO.618



学位記授与式の様子（2 ページに関連記事あり）

2021年 4 月号

目 次

◇ 学内の動き ◇

超小型衛星「ひろがり」 宇宙への放出が成功	1
令和2年度 学位記授与式を挙行	2
寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」の年度末報告会を開催	4
北海道企業局、日本工学院専門学校、室蘭工業高等学校との官学連携事業に関する 基本協定の締結	5

◇ 情報・資料 ◇

地方創生研究開発センター「プレ共同研究（2回目）」の選択	6
THE世界大学ランキング日本版2021で131位～140位にランクイン	7

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ	8
奨学寄附金の受入れ	9
受託研究等の受入れ	10

◇ 人 事 ◇

人事異動	11
------------	----

◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催	20
-------------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事	21
学外行事	21

学内の動き

超小型衛星「ひろがり」 宇宙への放出が成功

室蘭工業大学と大阪府立大学が共同開発した超小型衛星「ひろがり」が、令和3年3月14日午後8時20分ごろ、国際宇宙ステーション（ISS）から宇宙空間に放出されました。

放出の様子を見守った大学院修士1年アン・イ・ヨンさんは「これからが本番。いろんな困難があると思うが、冷静に対応したい」と表情を引き締め、大学院修士1年の長飛洋さんは「放出を確認してから急に現実味を感じ、緊張感も沸いてきた」と話しました。

航空宇宙機システム研究センター長の内海教授は「室蘭にあった衛星が宇宙を漂っていることに感激する。いい結果を出せるよう精いっぱい運用していきたい」と語りました。



令和2年度 学位記授与式を挙行

工学部第69回並びに大学院博士前期課程第55回及び大学院博士後期課程第29回学位記授与式を、令和3年3月23日（火）本学体育館において挙行了しました。今年度は学内関係者のみ参列のなか学位記授与が行われ、続いて空閑良壽学長から次のとおり告辞が述べられました。

告辞

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で3回に分けた学位記授与式となりました。学部卒業生、大学院修了生の皆様の、卒業・修了の晴れ舞台となる学位記授与式を心待ちにされていたご両親、ご家族を初め関係者の皆様にご出席いただくことは叶わず、心よりお詫び申し上げます。

さて本日、晴れて学部を卒業し学士（工学）の学位を得られた方は627名、大学院博士前期課程を修了し修士（工学）の学位を取得された方は245名、また大学院博士後期課程を修了し博士（工学）の学位を授与された方は18名です。そして卒業生・修了生の中には外国人留学生が34名おられます。これら890名の皆さんに、学位の取得並びに卒業・修了を心からお祝い申し上げます。また皆さんの入学から今日まで、修学を励まし支えていただいたご家族並びに関係者の方々に敬意とご祝辞を申し上げます。学位記授与に当たり、卒業生・修了生の皆さんに、私からの期待とメッセージを述べさせていただきます。

昨年、年頭から始まった新型コロナウイルス感染症との戦いは、まだその終わりは見えません。それでも、日本そして世界の株価はおおむね好調を維持し、日本そして世界の経済も様々な対応策と施策により落ち着いております。しかし、実態はかなり厳しく、非常に不安定な状況と考えられますが、世界中の皆様とともに、長いトンネルを抜けるよう、現在が頑張りどころではないでしょうか。一方、学部生そして博士前期課程修了生の皆さんの就職状況は、就職活動が制限されてしまった影響もあってか、昨年までに比べると数ポイント低い状況で進んでしまいました。

さて、皆さんは大学という社会からプロテクトされた環境から、社会・産業界の先が見えにくい荒波のなかに旅立つこととなります。十分な覚悟と準備が整っているでしょうか。今、世界が直面している新型コロナウイルス感染症への対応をとっても、ワクチン接種にこぎつけ明かりが見えてきたように思えますが、どのような手段・対策が正解なのか、そもそもどのような「解」があるかわからない問題です。このような問題・課題に直面し、その「解」を見つけ出そうと皆、頑張っているところです。

学生諸君自身も、既に1年以上に渡って新型コロナウ

イルス対策下の状況で、授業、卒業研究、修士論文、博士論文の研究を進めてこられました。リモートでの授業や指導教員の先生とのディスカッション、そして研究室での実験やグループワークなど、これまでの大学での学びのスタイルとは異なる、新たな環境のなかで、大変な努力とこの度の制限がかかった状況での、卒業研究や大学院での研究課題に取り組んだ経験は、皆さんにとって、きっと大変貴重な経験となつてかえってきます。答えがあるかどうかかわからない問題・課題と立ち向かい、答えに近づく、チャレンジすることはとても勇気がいることです。なぜなら、もし答えにたどり着けなければ、あるいはどんなに頑張っても、そもそも答えがないかもしれないという不安に打ち勝つのはまさに容易なことではありません。このようなとき、どのように対処されたことでしょうか？ 皆さんのこの経験を思い出してください。

さて私は本学の強みは、「確かな研究力をベースとした教育力」にあると強く信じています。例えば本学のホームページでも取り上げていますように、ロンドンに拠点を置く Times Higher Education (THE) の世界大学ランキング（「研究力」を主な指標として、Teaching, Research, Citations, Industry Income, International Outlook の4つの観点から評価される）に3年連続のランクイン（1001+位）、Engineering部門では601～800位となり、国立工業系大学のなかでは東京工大について、九州工大と東京農工大と同じく2位グループとなりました。これは単に評価の一つの切り口ではありますが、大変素晴らしいことです。加えて、コンピュータ科学分野の論文被引用指数は、なんと3年連続で日本一に輝いています。さらには、工学分野でも日本で第2位という快挙です（朝日新聞出版：大学ランキング2019～2021年度版）。

学生諸君の頑張りも素晴らしく、つい最近の報道でもありましたように、学生諸君も開発に携わった人工衛星「ひろがり」の打ち上げ成功がありました。まさに研究に携わった学生諸君や教員の皆さんの夢が宇宙に打ち上がったわけで、宇宙空間での実験成功を心より期待しています。またこの打ち上げには、一般の皆さんにも協力いただいたクラウドファンディングの資金も投入されています。まさに、エビデンスに基づいた「確かな研究力をベースとした教育力」の成果のひとつだと考えます。

さて人生の先輩の一人として、私からも一つ、大事な言葉を贈りましょう。それは「攻めと守りのバランス感覚」です。大学執行部の仕事も副学長が6年、学長としても6年が経過します。その間、様々な計画・施策の実施に携わってきました。この間、私は極力、EBPM (Evidence Based Policy Making) を心がけていました。大学運営において、確かなエビデンスが示せて、プラスになる成果や実現可能を期待できる計画ができれば、教

学内の動き

職員の皆さんの協力を期待できることになります。ただ、解決すべき課題が多すぎたり、十分な検討時間がとれない場合、常に十分なエビデンスを用意できるとは限りません。その際には、少ないエビデンスから判断して決断をすることになります。このときに、保守的に行くか積極的に行くか、「攻めと守りのバランス感覚」が重要となります。最近はそのことの重要性を感じています。

また本学で皆さんは各自の専門分野を学び、それぞれの学位を取得されたわけですが、学びはまだ終わっていません。皆さんは、これまで学んだ20数年間の何倍も長い期間、社会を生き抜き、切磋琢磨して行くことになります。私は靴の中には、いつも学長宿題というファイルが入っていて、常に予習・復習を行っています。人生100年時代、まだまだ勉強です。皆さんも、本学で身につけた専門分野を一つのベースとして、社会で活躍するために、さらに専門を深めたり、あるいは幅を広げ、新たな先端分野を学んだり、社会・産業の状況に応じて学び続けて、これからの人生を有意義に過ごすための準備をしてほしいと思います。

冒頭で述べたように外国人留学生の皆さんに関して、34名が学部卒業・大学院を修了します。そのうち帰国する留学生諸君はわずか12名（35%）、残りの22名は日本で活躍されると聞いています。すでに2名は国内企業に

就職、さらに1名は本学の博士研究員として残ります。このように留学生諸君の母国での活躍に加えて、日本国内の大学や企業で活躍する学生諸君が増えてきていることは大変頼もしい限りです。今後とも本学での学びを活かして、これまで以上に日本や本学と関わっていただけるよう期待いたします。

最後になりますが、皆さんの周りにはたくさんの応援団、仲間がいます。

本学の同窓生は皆さんも加えると既に述べ40000人に達しており、産業界・社会で実績を残して、活躍している先輩たちが皆さんを温かい目で見守っています。この歴史ある卒業生の社会での活躍とそこからの応援、そして室蘭工業大学で共に学んだ皆さんの経験こそが、これからの皆さんの力となります。

室蘭工業大学は、これからも皆さんと共に、日本のそして世界の輝かしい未来を築くべく、教育と研究そして社会への貢献を大きな柱として歩みます。皆様のご健勝とこれからの輝かしい未来でのご活躍を祈念し、学長告辞といたします。

令和3年3月23日

室蘭工業大学学長 空閑良壽



寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」の 年度末報告会を開催

令和3年3月29日（月）に寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」の年度末報告会を対面とオンラインを併用して開催しました。

本寄附講座は、ニューデジタルケーブル株式会社、太平洋興発株式会社、株式会社アクアジオテクノ、岩田地崎建設株式会社、特定非営利活動法人地下資源イノベーションネットワーク、一般社団法人北海道環境保全技術協会の6機関により、地方創生につながるハイブリッド石炭地下ガス化（H-UCG）の実証試験の実施及び未利用資源エネルギー等に関連する技術開発に資するため、平成31年4月1日から2年間の設置期間で開設され、さらなる研究開発のため、令和5年度まで3年間の期間延長がされました。

報告会に先立ち、本寄附講座の研究協力者である九州大学大学院工学研究院地球資源システム工学部門の濱中晃弘助教から「石炭地下ガス化模擬実験とガス化制御に関するこれまでの知見」と題してご講演いただきました。濱中助教は過去に本学に特任助教として在籍しており、

在籍時から現在までに実施してきた室内UCG模擬実験や大規模UCG模擬実験などで得た知見について説明がありました。

その後、本寄附講座の担当教員である板倉賢一特任教授から本寄附講座の概要、令和2年度の活動実績と令和3年度の計画について報告があり、特に、ハイブリッド石炭地下ガス化（H-UCG）の実証実験への移行については、「地下ガス化（UCG）」、「水素生産」、「CO₂リサイクル」の3つの主要事業を同時並行で進める必要があるとの説明があり、今後は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の調査研究等を活用しながら、実証試験に向けて研究開発を進める計画です。

本寄附講座の研究成果は、政府が掲げる2050年までのカーボンニュートラル達成に向けて、地域の脱炭素化のための研究成果の社会実装や、地域と大学の連携促進に貢献するとともに、新たなビジネスモデルを生み出すことが期待されています。



講演する濱中晃弘助教



報告する板倉特任教授

北海道企業局，日本工学院専門学校，室蘭工業高等学校との 官学連携事業に関する基本協定の締結

本学と北海道企業局，学校法人片柳学園日本工学院専門学校，北海道室蘭工業高等学校（以下，「4者」という。）は，令和3年3月30日（火）本学会議室において官学連携事業に関する基本協定締結式を行いました。

締結式には，本学の空閑学長，北海道企業局の佐々木公営企業管理者，日本工学院専門学校の福井校長，室蘭工業高等学校の伊藤校長が出席し，基本協定が締結されました。

本事業は，北海道企業局が所有する設備を活用し，新エネルギー，再生可能エネルギー開発を担う技術者育成を目的として，4者が連携・協力するものです。

空閑学長からは「再生可能エネルギーや新エネルギーの活用は最近特に重要視されている。今回の人材育成事業は，本学が掲げる『北海道MONOづくりビジョン2060』の実施項目と方向性が一致しており，本事業でエネルギーを生み出す現場を経験した学生が，将来の北海道の課題解決，ひいては日本，世界の課題解決に貢献することを期待する。」旨の挨拶がありました。



記念撮影に応じる，左から伊藤校長，
佐々木公営企業管理者，空閑学長，福井校長

情報・資料

地方創生研究開発センター「プレ共同研究（2回目）」の採択

令和2年度地方創生研究開発センタープレ共同研究（2回目）公募の結果，次のとおり採択されました。

本事業は，本学教員と民間機関等との研究者が，次年度以降において民間機関等との共同研究へ発展させるための前段階に相当する共同研究に対して助成を行うものです。

研究代表者・職・氏名	民間企業等	採択金額（千円）
しくみ解明系領域 教 授 塩 谷 浩 之	北海道NSソリューションズ(株)	500
もの創造系領域 教 授 北 沢 祥 一	日鉄テックスエンジ(株)	500
もの創造系領域 教 授 相 津 佳 永	日鉄テックスエンジ(株)	500
もの創造系領域 講 師 長 船 康 裕	(株)北央技研	500
合 計（4件）		2,000

THE 世界大学ランキング日本版2021で 131～140位にランクイン

令和3年3月25日、THE世界大学ランキング日本版2021が発表され、イギリスの教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション（Times Higher Education）に評価されたTimes Higher Education Japan University Rankings 2021の1校として、本学は、総合131～140位にランクインしました。

THE 世界大学ランキング日本版2021では、1. どれだけ充実した教育が行われている可能性があるか、2. どれだけ教育への期待が実現されているか、3. どれだけ卒業生が活躍しているか、4. どれだけ国際的な教育環境になっているか、という4つの分野の指標に基づいて決定されています。また、日本版は世界版が「研究力」に比重を置いた調査であるに対し、日本の大学の使命を鑑み、より「教育力」を重視した内容となっています。本学は、学生への教育充実度が高く評価されました。

室蘭工業大学は工業大学としての教員の確かな研究力と延べ40,000余の同窓生の活躍を実績として教育改革を進め、地域にそして世界に貢献できる理工系学生の育成に邁進します。

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金 額 (千円)
もの創造系領域 教 授 佐 藤 孝 紀	大 企 業	500
もの創造系領域 教 授 佐 藤 孝 紀	大 企 業	1,600
しくみ解明系領域 准教授 安 藤 哲 也	大 企 業	3,300
合 計 (3 件)		5,400

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額 (千円)
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	300
株式会社不動テトラ	工 学 研 究 助 成	500
株式会社クリーン☆アップ	工 学 研 究 助 成	200
個人・団体 寄附者 (3件) ※室蘭工業大学古本募金	図書館資料・設備の充実のため	3
合 計 (4件)		1,003

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金 額 (千円)
もの創造系領域 教 授 清 水 一 道	公 益 法 人 等	528
合 計 (1 件)		528

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
令和3年3月31日	〈定年退職〉	那 須 守	大学院工学研究科教授（もの創造系領域） 兼務：社会連携統括本部
		福 田 永	大学院工学研究科教授（もの創造系領域）
		鈴 木 幸 司	大学院工学研究科教授（しくみ解明系領域）
		橋 本 邦 彦	大学院工学研究科教授（ひと文化系領域）
		亀 田 正 人	大学院工学研究科准教授（ひと文化系領域）
		荒 木 正 子	監査室長
令和3年3月31日	〈任期満了〉	溝 口 光 男	理事（学術）
		高 木 稔	技術部再雇用職員
令和3年3月31日	〈辞 職〉	佐 藤 孝 紀	大学院工学研究科教授（もの創造系領域）
	札幌医科大学	田 所 重 紀	大学院工学研究科教授（ひと文化系領域） 兼務：保健管理センター
	岩手大学	松 山 永	大学院工学研究科助教（しくみ解明系領域）
		脇 舎 和 平	大学院工学研究科助教（しくみ解明系領域） 兼務：希土類材料研究センター
		笹 田 好 恵	保健管理センター看護師

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
令和3年3月31日	〈辞 職〉(転出)		
	豊橋技術科学大学事務局長	阿 部 英 樹	副学長・事務局長
	北海道大学附属図書館管理課課長補佐	中 村 陽	総務広報課図書学術情報室長
	苫小牧工業高等専門学校総務課調達係主任	齊 藤 里 奈	経理課主任(調達係)
令和3年4月1日	〈任 命〉		
	国立大学法人室蘭工業大学長(任期: R6.3.31)	空 閑 良 壽	国立大学法人室蘭工業大学長
	理事(総務・学術)(任期: R5.3.31)	松 田 瑞 史	理事(総務担当)
	理事(評価・財務)(任期: R5.3.31)	佐 藤 孝 紀	副学長(評価担当)
	理事(研究・連携)(任期: R5.3.31)	船 水 尚 行	理事(研究・連携担当)
令和3年4月1日	〈採 用〉(転入)		
	大学院工学研究科教授(もの創造系領域)	溝 口 光 男	理事(学術)
	大学院工学研究科准教授(もの創造系領域)	栞 原 浩 平	釧路工業高等専門学校准教授
	大学院工学研究科准教授(ひと文化系領域)	木 元 浩 一	早稲田大学次席研究員
	大学院工学研究科准教授(ひと文化系領域) 兼務: 国際交流センター	白 尚 燁	大学院工学研究科特任助教(ひと文化系領域) 兼務: 国際交流センター
	大学院工学研究科講師(ひと文化系領域)	落 合 いずみ	北海道大学博士研究員
	大学院工学研究科講師(ひと文化系領域)	SUSTENANCE SCOTT NIGEL	
	大学院工学研究科助教(しくみ解明系領域)	鈴 木 元 樹	
	大学院工学研究科特任教授(もの創造系領域) 兼務: 社会連携統括本部	那 須 守	大学院工学研究科教授(もの創造系領域) 兼務: 社会連携統括本部
	大学院工学研究科特任教授(東京事務所) 事務局長	樋 口 健	
	総務広報課図書学術情報室長	堀 越 邦 恵	大学改革支援・学位授与機構管理部長
			北海道大学附属図書館研究支援課係長(研究支援企画担当)
	監査室再雇用職員(監査係)	荒 木 正 子	監査室長
	保健管理センター看護師	前 川 良 江	日本製鋼所健康保険組合室蘭支部保健師

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
令和3年4月1日	〈出向復帰〉 総務広報課主任（人事企画係） 経理課係員（調達係）	遠 藤 仁 郎 村 上 佳 鈴	北海道大学理学・生命科学事務 部事務課（人事担当） 北海道大学病院管理課用度第二 係
	〈昇 任〉 大学院工学研究科教授（ひと文化系領域） 監査室長 兼務：監査室係長（監査係） 経営企画課主任（経営企画係） 入試戦略課主任（入学試験係） 入試戦略課国際交流室主任（留学生係）	森 田 英 章 末 田 靖 千 葉 ななえ 成 谷 道 生 高 橋 秀 徳	大学院工学研究科准教授（ひと 文化系領域） 監査室副室長 兼務：監査室係長（監査係） 経営企画課係員（経営企画係） 入試戦略課係員（入学試験係） 入試戦略課国際交流室係員（留 学生係）
令和3年4月1日	〈配置換〉 施設課係長（施設企画係（企画担当）） 施設課係長（施設企画係（マネジメント担当）） 施設課係長（施設係（設備担当）） 総務広報課係員（労務管理係） 経理課係員（経理係） 施設課係員（施設係（設備担当）） 施設課係員（施設係（設備担当）） 学務課係員（教務企画係） 学務課係員（教育支援係） 学務課係員（学生支援係） 監査室係員（監査係）	南 圭 奈 山 本 和 幸 栗 尾 員 徳 小 川 智 也 鈴 木 俊 祐 毛 利 優 介 山 本 匡 汰 谷 川 梨 乃 大 金 慎二郎 石 田 初 小 林 誠	施設課係長（施設マネジメント 係） 施設課係長（施設係（保全担当）） 施設課係長（施設マネジメント 係） 学務課係員（教務企画係） 学務課係員（学生支援係） 施設課係員（施設係（保全担当）） 施設課係員（施設係（保全担当）） 学務課係員（教育支援係） 総務広報課係員（人事企画係） 施設課係員（施設マネジメント 係） 入試戦略課係員（キャリア支援 係）

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
令和3年4月1日	〈任用更新〉		
	任用更新（任期の定めなし）	小 川 祐紀雄	大学院工学研究科准教授（ひと文化系領域） 兼務：情報教育センター
	任用更新（任期の定めなし）	小 野 真 嗣	大学院工学研究科准教授（ひと文化系領域） 兼務：国際交流センター
	任用更新（任期の定めなし）	藤 平 祥 孝	大学院工学研究科助教（もの創造系領域）
	任用更新（任期の定めなし）	小 林 洋 介	大学院工学研究科助教（しくみ解明系領域）
	任用更新（任期の定めなし）	澤 田 紋 佳	大学院工学研究科助教（しくみ解明系領域）
		板 倉 賢 一	大学院工学研究科特任教授（しくみ解明系領域） 兼務：寄附講座・未利用資源エネルギー工学講座
令和3年4月1日		岸 上 順 一	大学院工学研究科特任教授（しくみ解明系領域）
	〈命〉		
	経営協議会委員	松 田 瑞 史	
	教育研究評議会評議員		
	副学長		
	大学院工学研究科博士後期課程工学専攻長		
	保健管理センター所長		
	理工学人材育成本部長		
	理工学基礎教育センター長		
	大学院工学研究科・理工学部教授兼務		
	経営協議会委員	佐 藤 孝 紀	
	教育研究評議会評議員		
	副学長		
	附属図書館長		
	技術部長		
	大学院工学研究科・理工学部教授兼務		

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
	経営協議会委員	船 水 尚 行	
	教育研究評議会評議員		
	副学長		
	社会連携統括本部長		
	副学長（任期：R5.3.31）	桃 野 直 樹	
	教育研究評議会評議員		
	教育推進支援センター長		
	副学長（任期：R5.3.31）	木 幡 行 宏	
	教育研究評議会評議員		
	副学長（任期：R5.3.31）	董 晃 雄	
	教育研究評議会評議員		
	副学長	内 藤 雷 太	
	経営協議会委員		
	教育研究評議会評議員		
	学長補佐（任期：R4.3.31）	花 島 直 彦	
	学長補佐（任期：R4.3.31）	吉 田 雅 典	
	大学院工学研究科博士前期課程環境創生工学系専攻長（任期：R5.3.31）		
	教育研究評議会評議員		
	経営協議会委員		
	学長補佐（任期：R4.3.31）	河 合 秀 樹	
	地域教育・連携センター長（任期：R5.3.31）		
	学長補佐（任期：R4.3.31）	永 野 宏 治	
	大学院工学研究科しくみ解明系領域長（任期：R5.3.31）		
	教育研究評議会評議員		
	経営協議会委員		
	キャリア・サポート・センター長		
	学長補佐（任期：R4.3.31）	川 村 志 麻	
	大学院工学研究科もの創造系領域長（任期：R5.3.31）	市 村 恒 士	
	教育研究評議会評議員		

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
	大学院工学研究科ひと文化系領域長（任期：R5.3.31） 教育研究評議会評議員 理工学部創造工学科長（任期：R5.3.31） 教育研究評議会評議員 経営協議会委員 理工学部システム理化学科長（任期：R5.3.31） 教育研究評議会評議員 大学院工学研究科博士前期課程生産システム工学系専攻長（任期：R5.3.31） 教育研究評議会評議員 大学院工学研究科博士前期課程情報電子工学系専攻長（任期：R5.3.31） 教育研究評議会評議員 国際交流センター長（任期：R5.3.31） 航空宇宙機システム研究センター長（任期：R5.3.31） ものづくり基盤センター長（任期：R5.3.31） 希土類材料研究センター長（任期：R5.3.31） 地方創生研究開発センター長（任期：R4.9.30） クリエイティブコラボレーションセンター長（任期：R5.3.31） 情報教育センター長（任期：R5.3.31） 研究基盤設備共用センター長（任期：R5.3.31）	前 田 潤 藤 木 裕 行 須 藤 秀 紹 上 羽 正 純 川 口 秀 樹 山 路 奈保子 内 海 政 春 清 水 一 道 関 根 ちひろ 吉 成 哲 徳 樂 清 孝 桑 田 喜 隆 中 野 英 之	
令和3年4月1日	〈出 向〉 北海道大学理学・生命科学事務部事務課（人事担当）	長濱谷 圭 汰	総務広報課係員（労務管理係）
令和3年3月31日	〈雇用期間満了〉	刀 川 眞 NGUYEN XUAN QUY	総務広報課特定専門職員 大学院工学研究科博士研究員

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
令和3年4月1日		GUOQING	大学院工学研究科博士研究員
		GENGXIONG	大学院工学研究科博士研究員
		花 田 亜 美	大学院工学研究科事務補佐員
		横 山 有希子	大学院工学研究科事務補佐員
		遠 藤 ゆきの	総務広報課事務補佐員
		塚 本 優 希	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		小野塚 悠 太	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		稲 見 栞	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		坪 内 聡 汰	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		岡 田 果 莉	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		中津山 希	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		浦 田 順 子	学務課事務補佐員
		高 成 真 輝	ものづくり基盤センター技術補佐員
	〈採 用〉		
		瓦 井 智 貴	
		NGUYEN DUC VAN	
		SRICHANTHAMIT TANAPUN	
		TATIANA BARSUKOVA	
		對 馬 康 雄	
		BURAPORNPONG SIREE	
		BEGUM ZUBEDA	
	大学院工学研究科博士研究員	安 田 一 貴	
	大学院工学研究科博士研究員		
	大学院工学研究科博士研究員		
	大学院工学研究科博士研究員		
	大学院工学研究科博士研究員		
	大学院工学研究科博士研究員		
	大学院工学研究科博士研究員		
	航空宇宙機システム研究センター博士研究員		

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
令和3年3月31日 令和3年4月1日	大学院工学研究科事務補佐員	柴 田 亜砂美	
	クリエイティブコラボレーションセンター技術補佐員	下 保 知 輝	
	総務広報課事務補佐員	加 藤 由 実	
	総務広報課図書学術情報室事務補佐員	阪 本 薫	
	総務広報課図書学術情報室事務補佐員	明 石 陸 冬	
	総務広報課図書学術情報室事務補佐員	板 倉 詩 桜	
	総務広報課図書学術情報室事務補佐員	河 村 健 大	
	総務広報課図書学術情報室事務補佐員	竹 中 修 矢	
	総務広報課図書学術情報室事務補佐員	新居田 咲 希	
	総務広報課図書学術情報室事務補佐員	柳 谷 一 輝	
	経理課事務補佐員	長谷川 綾 香	
	入試戦略課事務補佐員	横 山 有希子	
	〈雇用期間更新〉		
		羽 山 満 之	施設課特定技術職員
		谷 口 美 緒	大学院工学研究科学術研究員
		菊 地 しづか	大学院工学研究科事務補佐員
		工 藤 ゆ き	大学院工学研究科事務補佐員
		小 沼 静 香	大学院工学研究科事務補佐員
		佐々木 恵梨菜	大学院工学研究科技術補佐員
		宗 成 美	大学院工学研究科事務補佐員
		松 原 みづほ	大学院工学研究科事務補佐員
		曾野部 梨 紗	地域・教育連携センター事務補佐員
		高 橋 美 香	地方創生研究開発センター事務補佐員
		品 川 亜衣子	クリエイティブコラボレーションセンター事務補佐員
		篠 原 未 来	クリエイティブコラボレーションセンター技術補佐員
		村 山 理 子	クリエイティブコラボレーションセンター技術補佐員

発令年月日	異動内容	氏 名	現 職
		斉 藤 昭 子	希土類材料研究センター事務補佐員
		岡 野 友 河	ものづくり基盤センター技術補佐員
		片 岸 祥 帆	ものづくり基盤センター技術補佐員
		小松田 惟 樹	ものづくり基盤センター技術補佐員
		谷 塚 智 大	ものづくり基盤センター技術補佐員
		板 井 みどり	ロボットアリーナ技術補佐員
		池 野 佳 奈	総務広報課事務補佐員
		藤 平 昌 代	総務広報課事務補佐員
		山 形 香 里	総務広報課事務補佐員
		田野中 広 美	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		清 水 琉 生	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		庄 司 一 稀	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		平 井 望 丘	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		結 城 翔 太	総務広報課図書学術情報室事務補佐員
		後 藤 むつみ	学務課事務補佐員
		道 林 志 織	学務課事務補佐員
		永 田 鈴 奈	入試戦略課事務補佐員
		野 田 葉津希	入試戦略課国際交流室事務補佐員

学内会議

学内各種委員会等の開催

< 2月25日～3月24日 >

開催日時 令和3年3月2日（火）
会議名 第9回企画戦略会議

開催日時 令和3年3月2日（火）
会議名 第23回役員会

開催日時 令和3年3月3日（水）
会議名 第11回教育研究評議会

開催日時 令和3年3月3日（水）
会議名 第4回国立大学法人室蘭工業大学教育・研究振興会運営委員会

開催日時 令和3年3月4日（木）
会議名 第6回教授会

開催日時 令和3年3月4日（木）
会議名 第3回大学院工学研究科委員会博士前期課程分科会

開催日時 令和3年3月4日（木）
会議名 第2回大学院工学研究科委員会博士後期課程分科会

開催日時 令和3年3月11日（木）
会議名 第9回大学院工学研究科博士後期課程専攻長会議

開催日時 令和3年3月16日（火）
会議名 第24回役員会

開催日時 令和3年3月16日（火）
会議名 第7回教授会

開催日時 令和3年3月17日（水）
会議名 第4回経営協議会

開催日時 令和3年3月18日（木）
会議名 第12回教育研究評議会

学内行事

- 2月25日（木） 一般入試（前期日程）（室蘭, 札幌, 仙台, 東京, 名古屋）
- 3月1日（月） 胆振地域対象合同企業説明会
- 3月2日（火） 室蘭市内企業合同企業説明会
- 3月2日（火） 2021年度4月入学大学院博士前期課程入試（第2次募集）（一般・社会人・外国人留学生：3日）
- 3月4日（木） FD講演会「製鉄技術者視点から大学教育に期待すること・・・キーワードは「TJ」
- 3月6日（土） 令和3年度理工学部一般選抜前期日程合格発表
- 3月11日（木） 令和2年度合同企業説明会（12日まで）
- 3月12日（金） 2021年度4月大学院博士後期課程一般入試・社会人（第2次募集）入試合格発表
- 3月15日（月） 合同企業説明会（17日まで）
- 3月15日（月） 個人情報保護に関するオンライン講演会
- 3月17日（水） 新ホームページの操作説明会
- 3月18日（木） 全学一斉構内クリーン作戦
- 3月21日（日） 理工学部一般選抜後期日程合格発表
- 3月21日（日） 大学院工学研究科博士前期課程一般入試及び外国人留学生入試合格発表
- 3月22日（月） 月島機械株式会社との包括連携報告会
- 3月23日（火） 令和2年度学位記授与式

学外行事

- 3月1日（月） 国立大学法人研究担当理事・副学長協議会（第14回）（オンライン）
- 3月3日（水） 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度公募説明会（オンライン）
- 3月8日（月） 令和2年度国立大学協会第4回通常総会および創立七十周年記念式典（オンライン）
- 3月10日（水） 令和2年度第5回教養教育連携実施運営委員会（オンライン）
- 3月11日（木） 全国ダイバーシティネットワーク北海道ブロック勉強会（オンライン）
- 3月14日（日） 超小型衛星「ひろがり」宇宙への放出（オンライン）
- 3月23日（火） カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等の貢献に係るコアリション学長等サミット（オンライン）
- 3月24日（水） 全国ダイバーシティネットワーク北海道ブロック会議（オンライン）

編集後記

◆ 教職員の皆様からの随想，提言等の御寄稿，あるいは学報への御意見，御希望，また，日頃感じていることなど多数お寄せくださるようお待ちしております。

（リンク先：総務広報課総務広報係，E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp）

（総務広報課総務広報係）



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

■編集発行

室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所

株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308